

春休みのくらしについて さいたま市立鈴谷小学校

春休みは【3月27日~4月7日】の期間となります。休み中のお子さん の生活は、ご家庭が中心になります。下の事項にご留意の上、ご指導いただ きますようお願いいたします。

○体調管理に気を付ける

基本的な生活習慣を守り、特に衛生面での習慣についてはしっかり身に付くよ うご指導をお願いします。基本的な感染症対策を改めて徹底し、健康の保持増進 に努めるように、お子さんの実情に即してご指導ください。また、疾病などの治 療もお願いします。

○日々を計画的に過ごす

この期間は、お子さんが自分で時間の使い方を考えて、生活するよい機会です。 お子さんのいろいろな計画や実践に対して、相談に乗ってあげてください。

○心の健康を保つ

お子さんの心は日々変化します。「昨日まで何も悩んでいなかった子が、今日 になったら悩みを抱えている。」このようなことがあります。春休み中も、お子 さんの様子を見守ってあげてください。気になることがあり、相談したい時は、 本校や本校以外にも次の相談機関へご連絡ください。

> 与野西中学校さわやか相談室 048-852-7003 与野南中学校さわやか相談室 048-852-2121 あいぱれっと教育相談室 048-711-5433 岸町教育相談室 048-838-8686 北教育相談室 048-661-0050 掘崎教育相談室 048-688-1414 美園教育相談室 048-711-7215 岩槻教育相談室 048-790-0227 ※月曜から金曜 午前9時~午後5時(祝日、年末年始除く)

○事故や事件に気を付ける

長期休業中は子どもが巻き込まれる事故が発生することがあります。不審 者、誘拐、薬物乱用等の事故や被害にあわないように、くれぐれもご注意く ださい。被害にあいそうな場合は、「子どもひなん所 110 番の家」に助けを 求めるようご指導をお願いします。被害を受けた場合は、直ちに警察に通報 し、学校にも連絡をしてください。また、交通事故にも十分にお気を付けく ださい。頭部の損傷を軽減させるヘルメットの着用についてご検討ください。 以下の具体例を参考にご家庭でもご指導ください。

- 1、交差点や見通しの悪い場所では、必ずいったん止まり、左右の安全を 確認し、絶対に飛び出さないこと。
- 2、道路や交差点を横断する時は、信号を守るとともに、必ず横断歩道や歩 道橋、白転車横断帯を利用すること。
- 3、信号が青の時でも、右折や左折をしてくる車やバイクの動きなど、左 右の安全を確かめてから横断すること。
- 4、自転車に乗る時は、ヘルメットを着用し、交通ルールやマナーを守り、 飛び出しや急な方向転換などは絶対にしないこと。
- 5、道幅が狭く、歩道がない道路などをやむを得ず歩いたり、複数で自転車 走行したりする場合には、一列になり、車やバイクが通り過ぎるまで止ま るなどして、安全に十分気を付けること。

【緊急の連絡先】☆警察 110 ☆消防・救急 119

☆浦和西警察署 854-0110 ☆鈴谷小学校 852-5675

○トラブルを防ぐ

ゲームセンターやゲームコーナーでのトラブル、ゲーム機やスマートフォ ン、タブレットの使用に伴うネットトラブルなどが起こりやすい期間です。 お金の使い方や遊ぶ場所、遊び方など、ご家庭でよく実態を把握され、トラ ブルに巻き込まれないようにご注意ください。





春休みよい子のくらし 凝しいをがみをおくるために



- (1) 新しい生活様式を意識して生活しましょう。
- (2) 手洗いや手の消養をこまめに行い、ウィルスを体の管に入れないようにしましょう。
- (3) 夜ふかしをせず、早寝早起きを心がけ規則正しい生活をしましょう。
- (4) 毎日、食後の歯磨きを忘れずにしましょう。
- (5) 蓮んでお手伝いをしましょう。
- (6) おこづかいは大切にし、むだづかいをしないようにしましょう。

2 交通事故に注意しよう

- (1) 信号や標識をよく見て横断歩道を渡りましょう。
- (2) 道路を横断するときは首動車や首転車に気を付けて、とび出さないで、 信号が簀の時でも安全を確かめて渡りましょう。
- (3) 自転車に乗るときは、ブレーキなどを点検してから乗り、ヘルメットをかぶるようにしましょう。
- (4) 首転電に乗っているときは、交差点では一酸 ず止まりましょう。また、とび出しや意に 別るを変えることは 影像なのでやめましょう。 ご人乗りをしたり 並んで 誰ったり するのも 影像なので、 やめましょう。

きけん まそ 3 危険な遊びはやめよう

- (1) 工事現場や空地など危険な場所では遊んではいけません。
- (2) 岩換げや崩のぼりなど驚ない麓びは、してはいけません。
- (3) 字どもだけでたき火などの火遊びは絶対にしません。

4 よりよいくらしをしよう

- (1) 愛堂に気を付けて、なわとびなどの運動を進んで行いましょう。
- (2) 学校、公園、神社、等など、他の人も利用するところは、大切に使いましょう。
- (3) がさい字どもやお年の一流には、思いやりをもって接しましょう。
- (4) 言葉づかいに気を付け、削手の気持ちになって行動しましょう。
- (5) 麓びに行くときは、行き発、帰る時刻、戸緒に蟹ぶ装篷の名箭を蒙の犬に に いてから出かけましょう。 必要ないお 盤は持たないようにしましょう。
- (6) お甇をあげたりもらったり、貸したり借りたりしないようにしましょう。
- (7) お客様や近所の人には気持ちのよいあいさつを延んでしましょう。

5 誘拐や痴漢に注意しよう

- (1) 知らない人についていってはいけません。
- (2) 入気のないところや暗いところでは遊ばないようにしましょう。
- (3) 荻で麓ぶ睛は $\overset{\circ}{\sim}$ にならないようにしましょう。
- (4) 知らない人につきまとわれたら、防犯ホイッスル・防犯ブザーを鳴らす、大学をあげるなどして、地域の芳、「字どもひなん所110番の 蒙」などに動けを兼めましょう。
- (4) 不審な電話や問い合わせには応じないようにしましょう。
- 5) 方一、事故や被害を受けたらすぐに警察に強絡しましょう。

(警察への連絡は、110器です)

(6) 決められた時刻までに縈に鶯りましょう。 (3質・中は違くても17:00、4質からは違くても17:30までに縈 に着くようにしましょう。)